

むささび

第55号

令和7年6月30日発行

JForest 北信州森林組合
〒383-0061 中野市大字壁田938-1
TEL:0269-38-0371 FAX:0269-23-5350
URL <https://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>
E-mail musasabi@jforest-kitashinshu.or.jp



新しくなった中野市民会館(ソソラホール)にて第24回通常総代会が開催されました



組合ホームページあります。ぜひご覧ください
<https://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>
スマートフォン対応

主な内容

- 第24回通常総代会を開催しました…………… 2～4
- 令和7年度 山林の境界明確化事業計画… 5
- カラマツ立木 買取中…………… 6
- 新入職員の自己紹介です…………… 6
- 10月から2025国勢調査が始まります… 7
- 地域でまとめて柿の木整理…………… 8
- 人事異動…………… 8
- 休憩時間導入のお知らせ…………… 8

第24回通常総代会を開催しました

損益計算書

(単位 千円)

事業総損益		
収益	591,770	
費用	406,736	
事業総利益		185,034
事業損益件費	115,633	
人旅費	1,449	
事業費	3,943	
諸税負担金	5,924	
施設費	3,452	
雑費	24,625	
管理費	984	
事業管理費計		156,010
事業外損益	29,024	
経常利益	1,774	
特別損益	30,798	
税引前当期利益	1,161	
法人税・住民税及び事業税	31,959	
当期剰余金	4,356	
前期繰越剰余金	27,603	
当期繰越剰余金	9,500	
当期未処分剰余金	37,103	

※千円未満については四捨五入ですが、合計を合わせるために切捨、切上しています。

令和6年度 剰余金処分案

(単位 千円)

I 当期未処分剰余金	37,103
II 剰余金処分類	
1.法定準備金	6,000
2.任意積立金	
損失補填積立金	0
除雪車購入積立金	0
林業機械購入積立金	0
出資配当金	5,820
	0
III 次期繰越剰余金	25,283

※千円単位で記載するため端数調整しています。



山崎代表理事組合長あいさつ

令和7年4月26日(土)に中野市民会館ソラホールにおいて第24回通常総代会を開催いたしました。

総代総数200名のうち本人出席77名、書面出席110名、合計187名の出席で、総代会議長に中野地区選出総代の上原正博様を選出して議事が行われ、上程された10議案全て原案どおり承認・決定されました。

その後、当組合事業に功績のあった組合員を対象に、素材生産第一位出荷者として団体の部で山ノ内町夜間瀬本郷区様、個人の部で長野市の月岡雄樹様が表彰されました。

また、22名の来賓にご臨席を賜り、6名の方々よりご祝辞をいただきました。

令和6年度事業報告・収支決算

多くの自然災害に見舞われた年でしたが、幸いなことに当地域においては穏やかな1年となりました。ただ、夏場には記録的な高温が続き降雨も少なく、熱中症対策など労働環境改善に取り組んだ年でもありました。

事業活動では3月には降雪が多くあり受託利用事業収入(除雪)が前年対比204%の増収となりました。その影響で森林整備への移行が心配されましたが、スムーズに移ることで、その後も順調に事業が推移しました。

夏季事業では11月末の事業利益が二、四七八万円となるなど、これまでにない良好な結果となりました。各市町村において継続して行っている林地台帳整備事業(森林境界明確化)について、従来からの事前調査(次年度に立会・測量)を三七九ha、立会・測量三六五ha、飯山市においてリモートセンシング技術を活用した「スマート境界確認」として七一haを実施しました。年度末までの境界明確化面積の累計は七、八〇〇haとなっています。

好調だった夏季事業に続き、冬季事業においても12月の受託利用事業収入が前年対比397%となり、1月の降雪は減少しましたが2月は寒気の影響で降雪が続いたことから、受託利用事業の収入合計は前シーズンの

部門別損益

令和7年2月28日現在
(単位 千円)

収 益	部 門	金 額	備 考
指 導 部 門		4,801	賦課金、実費収入
販 売 部 門		117,979	販売品売上・林産手数料 販売品素材売上・林産品売上 他
森 林 整 備 部 門	森 林 整 備	141,091	森林整備収入、森林請負収入 他
	利 用	317,164	調査収入、利用料、利用事業収入、受託利用事業収入 家賃収入 林地台機整備事業収入 他
	購 買	10,724	事業物資売上 生活物資売上
	金 融	11	事業資金貸付利息
合 計		591,770	

費 用	部 門	金 額	備 考
指 導 部 門		4,698	総代会経費、広報紙発行費 他
販 売 部 門		106,787	販売品原価・販売品素材売上原価・林産品売上原価 他
森 林 整 備 部 門	森 林 整 備	81,597	森林整備費、森林請負費 他
	利 用	205,359	調査費、利用施設維持費、利用事業費、受託利用事業費 林地台機整備事業費 他
	購 買	8,289	事業物資売上原価 生活物資売上原価
	金 融	7	事業資金借入利息
合 計		406,737	

※千円単位で記載するため端数調整しています。

受託販売取扱高	56 千円
受託林産取扱高	5,340 千円
受託森林整備取扱高	92,153 千円

3月と合わせて一五、四七〇万円と、前年比215%となりました。事業実績では、業務処理の都合で受託林産取扱量は五三二㎡で前年対比5%に減少しましたが、買取林産取扱量は一〇、六一四㎡と増加し、国有林生産請負などを加えた素材生産実績は一七、〇〇五㎡となりました。事業収益は、販売部門では生産材を買取りするようにしたことなどから一一、九八〇万円（前年対比252%）森林整備部門の森林整備で国有林事業が増えたことから一四、一〇九万円（前年対比116%）となりそれぞれ大幅増となりました。森林整備部門の利用では、特殊伐採など利用事業収入が八、五五二万円（前年対比147%）受託利用事業収入（除雪）が一五、四七一万円（前年対比215%）利用全体では前年対比147%の三一、七一六万円となりました。全体の損益では、収益合計五九、一七七万円（前年対比147%）に対して費用合計四〇、六七四万円（前年対比145%）事業総利益は一八、五〇三万円（前年対比152%）となりました。事業管理費は一五、六〇一万円（前年対比119%）事業利益は二、九〇二万円、事業外損益一七七万円を加えた経常利益は三、〇七九万円、特別損益の一六六万円を加えた税引前当期利益は三、一九六万円となりました。

貸借対照表

令和7年2月28日現在（単位 千円）

科 目	金額	科 目	金額	科 目	金額	科 目	金額
資 産 の 部				負 債 の 部		純資産の部	
流動資産				流動負債		出資金	
現金	461	建物付属設備	2,003	受託販売預り金	11,071	払込済出資金	116,396
預金	403,089	一括償却資産	543	買掛金	189		
売掛金	567	土地	45,130	未 払 金	27,523	資本剰余金	
未収金	197,708	森林	0	未払法人税等	4,356	資本準備金	885
短期貸付金	1,000	有形固定資産合計	131,079	短期借入金	1,000	資本剰余金合計	885
立替金	119,446			前受金	496		
仮払金	0	無形固定資産		前受収益	185	利益剰余金	
前渡金	0	水利権	12	貸倒引当金	0	法定準備金	182,152
貸倒引当金	△ 1,180	ソフトウェア	833	預り金	190,211	任意積立金	
有価証券	0	無形固定資産合計	845	未払費用	0	(1)損失補填積立金	213,758
たな卸資産	7,241			未払消費税	15,813	(2)除雪車購入積立金	25,000
その他	703	外部出資その他資産				(3)林業機械購入積立金	20,000
		系統出資金	10,250	流動負債合計	250,844	当期未処分剰余金	
		系統外出資金	1,120			当期剰余金	27,603
		差入保証金	0	固定負債		前期繰越剰余金	9,501
流動資産合計	729,035	預託金	40	農林漁業資金借入金	0	利益剰余金合計	478,014
固定資産		長期前払費用	2,320	退職給付引当金	28,042		
		外部出資合計	13,730	役員退任慰労給付引当金	508		
有形固定資産				固定負債合計	28,550	純資産合計	595,295
建物	50,417	固定資産合計	145,654				
構築物	4,932			負債合計	279,394		
機械装置	26,042						
車輛運搬具	487						
工器具備品	1,525	資産合計	874,689			負債・純資産合計	874,689

※千円単位で記載するため端数調整しています。

令和6年度は、たいへん良い成績を残すことができました。役職員のがんばりの成果であるとともに皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。達成できていない課題が多々ありますが、解決に向けて更なる取組みを進め健全経営となることを目指してまいりますので、関係機関のご指導と、組合員のみなさまのご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。



令和7年度 損益計画

(単位 千円)

事業総損益	535,070	
事業費用	370,317	
事業総利益	164,753	
事業管理費	161,903	
事業利益	2,850	
事業外損益	500	
事業常利	3,350	
事業特別損益	0	
税引前当期利益	3,350	
法人税・住民税及び事業税	1,100	
当期剰余金	2,250	
前期繰越剰余金	25,284	
当期未処分剰余金	27,534	

多雪の影響が続く中で令和7年度が始まりました。当組合も主伐再造林を少しずつ実施しているところですが、カラマツ主体でスギはトビグサレ被害により販売価格が安いために苦慮する状況です。広葉樹は需要が多く主伐(更新伐)を進めています。良材は家具等に、それ以外も薪材等に高値で取引されています。7年度においても、カラマツ林の主伐再造林と広葉樹林の更新伐を進めてまいります。

里山周辺では、鳥獣被害やライフライン切断など地域住民の生活に支障を及ぼす事案が発生しています。このため、現状では様々な機械を導入

令和7年度事業計画

入し、人が木に登って作業を行うなど、高コストで危険な作業を行っています。改善のため適切な機械・機材の導入を検討しています。一市町村に限らず広域の課題であること、機械・機材が高額であることから各市町村と連携しての導入を検討してまいります。

木材生産においては、間伐が主体となりますが主伐材も含め、地域の製材工場、系統を通じた大規模需要者への販売、バイオマス燃料など

様々な需要先への

有利販売を進め、組合員へより多くの還元ができるよう努めてまいります。

それらの実施により令和7年度は

・収益
五三、五〇七万円

・費用

三七、〇三二万円

・事業管理費

一六、一九〇万円

・税引前当期利益

三三五万円

を計画しています。

部門別収益

(単位 千円)

部 門	金 額	備 考
指導部門	4,300	賦課金、実費収入 他
販売部門	203,912	林産品売上 販売品素材売上 森林譲渡収入 他
森林整備	52,156	森林整備収入、治山工事収入 他
利 用	263,502	調査収入、利用料、利用事業収入、受託利用事業収入 家賃収入 林地台帳整備事業収入 他
購 買	11,200	事業物資売上 生活物資売上
金 融	-	事業資金貸付利息
合 計	535,070	

受託販売取扱高

0

部門別費用

(単位 千円)

部 門	金 額	備 考
指導部門	4,600	総代会経費、広報発行費 他
販売部門	144,818	木材購入費 林産立木購入費 森林譲渡費 他
森林整備	23,173	森林整備費、治山工事費 他
利 用	189,043	調査費、利用施設維持費、利用事業費、受託利用事業費 賃貸施設維持費 林地台帳整備事業費 他
購 買	8,683	事業物資売上原価 生活物資売上原価
金 融	-	事業資金借入利息
合 計	370,317	

受託森林整備取扱高

90,000

組合員の除名について

除名対象人数

地 区	賦課金未納期間	対象人数
飯山	令和3年度から	5名
木島平	令和3年度から	1名
野沢温泉	令和3年度から	1名
豊田	令和3年度から	3名
合 計		10名

第10号議案で右表の10名について除名が決定されましたのでお知らせいたします。出資金の返還については、未納賦課金との相殺を優先いたします。該当される方で相殺後残金を請求される方は、総務課までお問い合わせください。

総代会において表彰が行われました

令和6年度林産事業素材出材者第一位

団体の部 夜間瀬本郷区様 出材量 1074 m³個人の部 月岡雄樹様 出材量 844 m³

永年勤続表彰

業務課計画係長 河野透 勤続20年(全森)

業務課主任 長澤正也 勤続20年(全森)

林産班 畔上岳雄 勤続10年(全森)

造林班 山崎勇人 勤続10年(全森)

利用事業課長代理 高橋優 勤続30年(県森)

林産班 定塚康央 勤続10年(県森)

令和7年度 山林の境界明確化事業計画

令和7年度山林境界明確化事業 立会予定

市町村	地区	現場名	面積 ha	実施時期
山ノ内町	上林	十二沢	43	6月中旬
野沢温泉村	北部	平林	20	7月中旬
中野市	日野	間山	76	8月下旬
中野市	高丘	立ヶ花・草間	11	9月上旬
飯山市	旭	斑尾	121	9月下旬
飯山市	常盤	長峰	42	10月～
野沢温泉村	豊郷	日影	35	10月上旬
木島平村	往郷	部谷沢	32	10月中旬
合 計			380	



当組合の重点事業のひとつである山林の境界明確化事業を今年度は、上表のとおり計画いたしました。

今年度該当所有者のみなさまにはご多忙のところ恐縮ですが、境界明確化事業に是非ともご参加いただき森林境界の保全にご協力くださいますようお願いいたします。

計画地においては、組合職員による事前調査のため山林内にピンクテープを巻いてあります。このテープは、山林境界を見える化するとともに、境界立会時の案内に重要な情報となります。ご覧になりましたらそのまま保存していただきますようお願いいたします。

北信州森林組合の境界明確化事業

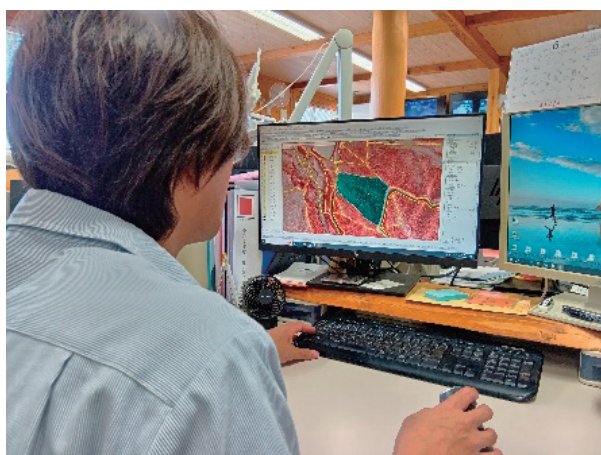
森林の境界に関しては、近年森林所有者の高齢化、山林の利用価値の低下（焚き物、炭）等により山林に足を運ぶ機会が減少し、森林境界に詳しい所有者も少なくなっております。

そのような状況を改善すべく少しずつではありますが、管内全市町村で毎年山林境界明確化事業を実施しており、令和6年度末時点で管内の明確化実績が七、八〇〇haを越えました。現在は各市町村から補助をうけて事業を実施することができ、所有者の費用負担なしで行っております。

境界立会日までに職員が境界と思しき箇所に目印を付けて立会を実施しています。様々な事情で山に足を運べない所有者から委任を受けられるよう、そして世代交代で所有山林がわからない方を案内できるよう日々調査しております。

境界明確化事業で得られた山林境界情報は、当組合の地理情報システムで管理され、森林整備事業に活用しています。

詳しくは
業務課 計画係まで
お気軽に
お問い合わせください。



カラマツ立木 買取中



- ① ご相談
まずはお気軽にご相談ください。
- ② 現地確認
林道の状況、周囲の状況、地形などを調査します。
- ③ お見積り
現状の市場取引価格から伐採にかかる費用を差し引いてお見積りいたします。
- ④ ご契約・お支払い

当組合では、カラマツ立木の買取をおこなっています。近年、カラマツはスギより高価に取引され、林分の状況によりですが、令和6年度実績ではhaあたり約八〇万円で森林所有者より購入しています。

また、お墓、建物などに対する支障木伐採の場合でも、立木を当組合が購入するならば、通常より低価格で伐採が可能となる場合があります。まずはお気軽にご相談ください。

新入職員の自己紹介です



鈴木 晴也さん

はじめまして。このたび、北信州森林組合の造林班に加わりました鈴木晴也と申します。森林の整備や管理作業を通じて、地域の自然環境を守る仕事に携わることになり、大きなやりがいを感じております。未経験ではありますが、一日一日

学びながら、みなさまのお役に立てるよう努力してまいります。安全第一を心がけ、丁寧な作業を徹底し、森林の保全と持続可能な利用に貢献していきたいと考えています。地域のみなさまや関係者の方々と協力しながら、より良い森林づくりに努めてまいります。何事も真剣に取り組み、早く仕事に慣れて、みなさまのお役に立てるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

重機の特定制自主検査員（見習い）として採用していただきました篠塚大志です。以前も整備士ではありましたが、重機やディーゼルエンジンの世界は初めてで見ることもやること、森の中の仕事など、全て新鮮です。現在は先輩の下でたくさんのお話を教えていただきながら重機について勉強しております。2年後の検査員資格の取得を目指します。

重機の整備は林業を後方から支える役割です。組合の重機は林業系から除雪機械まで幅広く、台数も多いですが、現場の人が困らないよう不具合にも対応できるスキルを身につけていきたいと思っています。



篠塚 大志さん

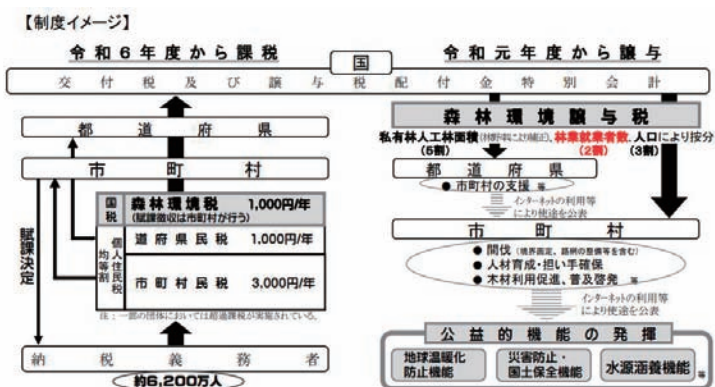
10月から2025 国勢調査が始まります

調査結果が森林環境譲与税の市町村配分に影響

昨年度から森林環境税が住民税に千円上乗せされて国税として課税されています。国が集めた森林環境税は、各市町村に森林環境譲与税として配分されます。その配分基準は令和6年度から若干変更されましたが、私有林人工林面積で55%、人口で25%、林業就業者で20%の割合で配分されます。この中の**林業就業者数**は、5年ごとに行われる「国勢調査」の調査結果により算出されています。今年がその年にあたり、10月から調査が始まります。

管内市町村では、町村部に林業就業者が少ない状況が見られます。山村地域が多い中で、たいへん不思議なことだと感じています。

この調査では、9月末までに一週間以上林業に従事した人を林業就業者とされています。森林所有者であれば、所有山林の管理や、キノコを除く山菜等採取も含まれます。そうしたことを理解していただき、調査を受けていただければと思います。



国勢調査2020 管内市町村の林業就業者

市町村	林業就業者数
中野市	46人
飯山市	38人
山ノ内町	15人
木島平村	12人
野沢温泉村	10人

森林環境税と森林環境譲与税

パリ協定の枠組みの下におけるわが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るため森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から森林環境税及び森林環境譲与税が創設されました。

森林環境税は、令和6年度から国内に住所を有する個人に対して課税される国税であり、市区町村において、個人住民税均等割と併せて1人年額千円が課税されています。その税収は、全額が森林環境譲与税として都道府県・市区町村に客観的な基準の配分率で譲与されます。なお、森林整備が喫緊の課題であることを踏まえ、令和元年度から譲与することとされました。令和5年度までの譲与税財源は交付税及び譲与税配付金特別会計における借入金が充てられ、借入金の償還は後年度の森林環境税の税収を充てることとされていましたが、令和2年度より、災害防止・国土保全機能強化等の観点から、森林整備を一層促進するため、地方公共団体金融機構の公庫債権金利変動準備金を活用し、交付税特別会計における譲与税財源の借入れを行わないこととした上で、森林環境譲与税の譲与額を前倒しで増額されて譲与されています。

森林環境譲与税は、都道府県・市区町村が、それぞれの地域の実情に応じて森林整備及びその促進に関する事業を幅広く弾力的に実施するための財源として活用されています。市町村においては、間伐等の「森林の整備に関する施策」と人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林の整備の促進に関する施策」に、また都道府県においては「森林整備を実施する市町村の支援等に関する費用」に充てることとされています。そして都道府県・市町村は、インターネットなどを利用してその使い道を公表しなければならないとされ長野県及び各市町村のホームページでその内容を見ることができます。

地域でまとめて柿の木整理



昨今頻発している熊による被害防止のため、柿の木や栗の木の伐採を希望される方が増えています。一軒だけで処理をしても周りに残っていれば誘引要素となってしまう。

地域全体で伐採をすることで効果が上がり、まとめて作業をすることで費用を低減できる場合もあります。ご近所お誘いあわせでご検討ください。

なお、飯山市では「飯山市ツキノワグマ誘引防止対策支援金」制度があり、経費の2分の1以内、限度額1本につき3万円の対象となる場合があります。お気軽にご相談ください。

利用事業課
☎0269(62)8111

人事異動

3月31日付退職

参事

田中 忠

会計主任

兼 総務課会計係長 丸山 久美子

利用事業課第2課長

高橋 優

利用事業班 班長

望月 芳文

安全指導員

(特定自主検査事業内検査者)

小林 貴

4月1日付異動

総務課 課長

南都 寛

業務課 課長

尾淵 義輝

総務課総務係長

兼 衛生管理者

中沢 千恵子

総務課会計係長

荒井 和恵

業務課事業第1係長

兼 J・クレジット推進担当

中山 尚士

業務課事業第2係長

兼 販路開拓担当 関 真一

業務課計画係長

兼 林地台帳整備事業担当

河野 透

総務課 主任

山口 小百合

4月1日付再雇用

参事

田中 忠

利用事業課課長代理 丸山 久美子

利用事業課課長代理 高橋 優

利用事業班 班長 望月 芳文

安全指導員

(特定自主検査事業内検査者)

小林 貴

4月1日付新規採用

特定自主検査事業内検査者補助

篠塚 大志

造林班

鈴木 晴也

4月30日付退職

造林班

木下 大和

林産班

湯本 雄也

休憩時間導入のお知らせ

職員の労務改善のため、お昼の休憩時間を設けさせていただきます。ご来所、電話によるお問い合わせは、営業時間内にいただきますようお願いいたします。

なお、定休日、営業時間は次の通りです。皆様には大変ご不便をおかけしますがご理解とご協力をお願いいたします。

【定休日】 土・日・祝日・年末年始他

【営業時間】 8時30分～17時15分

* 休憩時間 * 12時15分～13時

編集後記

この春の人事異動に伴い、新体制で組合報の編集・発行を行うこととなりました。不慣れなため至らぬ点もあるかと思いますが、これまで以上に組合員のみなさまに有益な情報をご提供できるよう努めて参ります。

本 所

〒383-0061

中野市大字壁田938番地1
TEL 0269-38-0371(代)
FAX 0269-23-5350

利用事業課

〒389-2255

飯山市大字静間383番地14
TEL 0269-62-8111
FAX 0269-67-0120